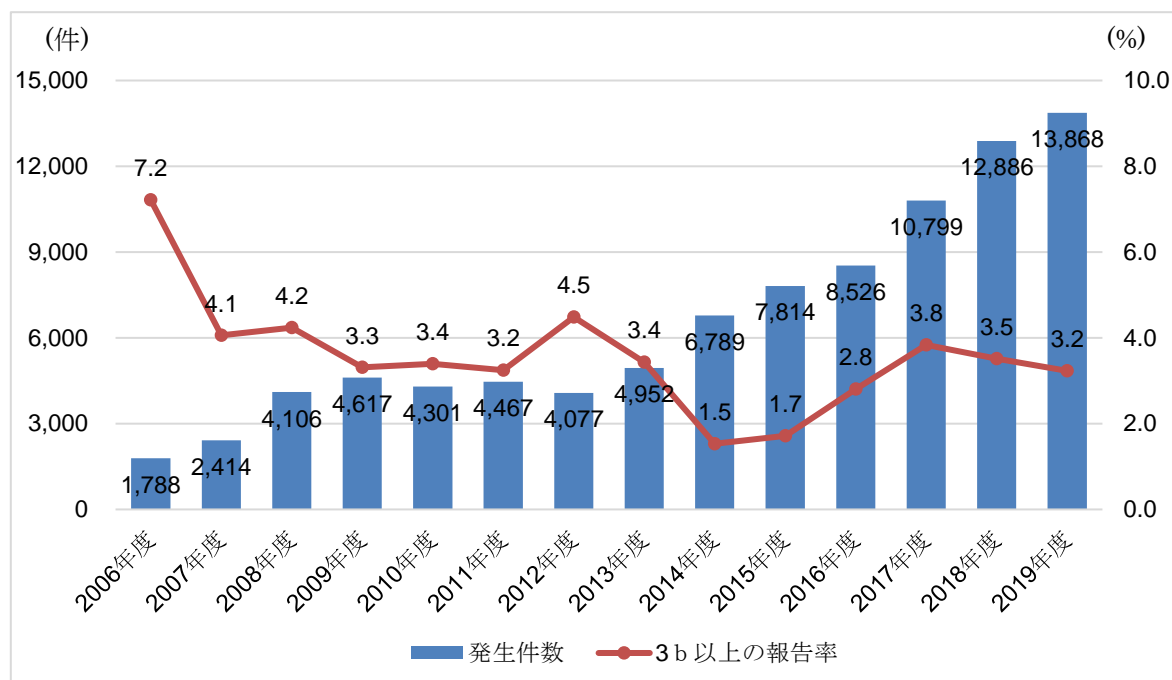


1 3. 安全管理報告数と患者影響度レベル 3b 以上報告率



医療事故とは、医療者の医療行為や医療施設の設備、システムに原因を発生したすべての人身事故一切を言い、医療者・管理者の過失に基づくものだけでなく、合併症や偶発症、不可抗力による場合も含む。また、患者だけでなく、医療従事者に被害が生じた場合も含まれる。医療に関する場所においては、様々なトラブルが発生し得るが、それを患者あるいは被害者への影響の程度に応じて、当院では患者影響度レベルを7段階にて判定する。

インシデントとは、患者影響度レベル0から5とクレームを含めたものをいう。エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった患者影響度レベル0をニアミスとする。有害事象とは、患者影響度レベル3bから5を有害事象とする。

2019年度の安全管理報告数は13,868件であり年々増加している。一般に報告総数が病床数の5倍が透明性のおおよその目安と言われている。当院の1,435床ならば、総数が約7,000件と大きく上回っており、報告する文化は定着しつつある。しかし、報告数さえ増えれば安全が保証されるわけではない安全文化を醸成するためには職員からの報告を改善に結びつけ再発防止に結びつける必要があると。